

- 1 ある所に、黒くて大きい^{くま}熊¹がいてノッシノッシと歩き
2 回っていました。歩くたびに、ノソノソといます。そこ
3 に、^{しか}鹿²がピョンピョン。そして、お猿^{さる}さんが、チョコチョコ。
4 ^{うさぎ}兎³さんも、ピョコピョコやってきました。高い^{おか}丘⁴の
5 上の平和な^{へいわ}森^{もり}⁵に、みんなは一緒に^{いっしょ}暮^くらしていました。
6 ある日、みんなが気持ちよく^ひ日向ぼっ^{なた}こ⁶をしている
7 と、ペタペタペタと聞こえてきます。かすか⁷な音で
8 すが、^{ちからづよ}力強い、^{はだし}裸足⁸で土の上を歩く音でした。みんな、
9 今まで聞いたことがない音にびっくりして見上げました。
10 「逃げようか？」猿は^{さる}頭^{あたま}を赤くしてキーキーと言いまし
11 た。
12 「ばか言うな！！」熊は^{くま}唸^{うな}って⁹、「お前たちには、^{きず}傷¹
13 つつけさせない¹⁰よ」
14 すると、しげみの中から、黒い髪と、まる^{まる}丸の目、日に
15 よく焼けた^や肌^{はだ}¹¹の小さな男の子が、突然^{とつぜん}¹²現^{あらわ}れました¹³。
16 ほっぺは、まるくピンク色、ぽちゃりとした手^{おの}に斧を持っ
17 ていました。
18 熊は見上げて、大きく^{くま}唸^{うな}りました。これで男の子は^な泣い

¹'beer'

²'hert'

³'konijn'

⁴'heuvel'

⁵'bos, woud'

⁶'zonnebaden'

⁷'vaag, subtiel'

⁸'blote voeten'

⁹うなる 'grommen, brullen'

¹⁰つけさせる is de causatief (MnN les 48) van つける. Betekenis: 'laten (doen)'.

¹¹'huid'

¹²'plotseling'

¹³あらわれる 'verschijnen'